

大宮交通公園の再整備に向けた市民意見募集について

みどりと笑顔があふれる
オープンスペース



【大宮交通公園】

大宮交通公園は、子どもたちが楽しみながら交通ルールを身に付けることができる施設として永年親しまれてまいりました。今後も設備等を適切に維持していくことが大切ですが、開園から約半世紀が過ぎ、必ずしも十分とはいえない状況にあります。

また、宅地化が進んだ北区北部地域の消防能力の向上のため、同公園の一部に北消防署を移転することを予定しています。

そこで、これを大きなチャンスと捉え、今まで以上に皆様に愛され、多くの方に楽しんでいただけるような公園となるよう、全面的な再整備を行うこととしました。

この度、大宮交通公園の再整備イメージを作成しましたので、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

- ・応募期間 **平成29年4月28日（金）～平成29年6月2日（金）【必着】**
- ・応募方法 郵送，FAX，ホームページの意見募集フォーム又は電子メール
※様式は自由です（背表紙の意見記入用紙をご利用いただけます）
- ・応募先 京都市建設局みどり政策推進室
住 所：〒604-0911 京都市中京区河原町二条上る清水町 359 番地 AB ビル 3 階
電 話：075-741-8600 FAX：075-212-8704
メール：ryokusei@city.kyoto.lg.jp
ホームページ：
<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/kensetu/0000217456.html>



パコメくん

平成29年4月発行 京都市印刷物 第294041号

大宮交通公園の概要について

大宮交通公園は、子どもたちが楽しみながら交通に関する知識や、正しい交通ルールを身に付けることができる本市唯一の交通公園です。当該地周辺には、街区内に居住する方々が利用する身近な公園（街区公園）がなく、本公園はその役割も担っています。

【大宮交通公園】

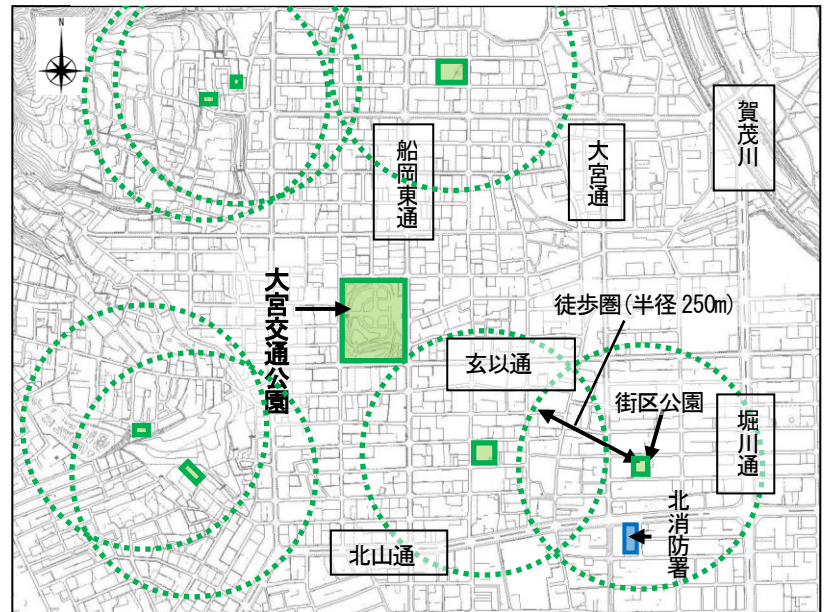
区 分：交通公園
場 所：京都市北区大宮西脇台町
面 積：約2.1ha
開園告示日：昭和44年3月31日
都市計画決定：昭和37年8月22日(最終)
休 園 日：火曜日、年末年始
開 園 時 間：9:00～16:30(時間外閉鎖)
そ の 他：広域避難場所



大宮交通公園(航空写真)



箇所図



周辺の公園配置状況

大宮交通公園の主な施設（現状）

現在の大宮交通公園には、主な施設として、交通教室に使用する管理棟、信号機や道路標識等のある模擬交通施設、大型滑り台等の遊具、御土居や区民誇りの木（シダレザクラ等）のある貴重な緑地があり、市民の方々に大変親しまれる公園となっています。



【写真①】シダレザクラ



【写真②】滑り台



【写真③】管理棟



【写真④】模擬交通施設



【写真⑤】御土居

施設配置図（現状）

大宮交通公園を取り巻く状況

1 本公園の抱える課題

<課題1>施設の老朽化

模擬交通施設は、経年変化による劣化が各所に見られ、ゴーカートは老朽化により、稼働している台数も減少している状況です。また、他の施設でも全般的に老朽化が進んでいます。



舗装の老朽化

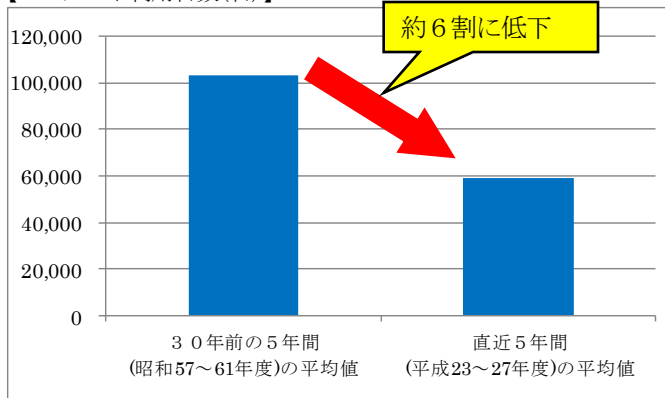


稼働不可のゴーカート

<課題2>交通学習施設（ゴーカートや交通教室等）の利用数の低下

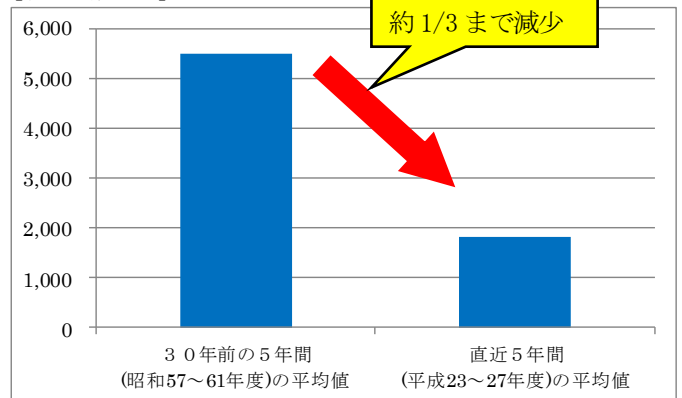
開園当時と比べ、ゴーカートや交通教室等、交通学習施設の利用数が大きく減少しています。

【ゴーカート利用台数(台)】



ゴーカート 利用台数

【利用人数(人)】



交通教室 利用人数

2 本公園敷地内への北消防署の移転

宅地化が進んだ北区北部地域の消防能力の向上のため、平成33年度を目途に北消防署が本公園の一部に移転する計画としています（公園形状や御土居等の配置、大型の緊急車両の出入りを考慮し、二車線道路である船岡東通沿いの北端部を北消防署の移転先としています）。これにより、公園面積の15%弱(3,000 m²弱)が減少しますが、災害時に広域避難場所である大宮交通公園への避難者に対して、応急救護や災害情報の提供ができるようになる等、防災機能の強化が可能となります。

なお、引き続き「京都市緑の基本計画（H22年3月）」に基づき、公園面積の確保に努めてまいります。

また、時代のニーズに合った公園の施設・機能となるよう、残る公園敷地も併せて再整備することで、公園全体として機能向上を図ることができます。

大宮交通公園の再整備に向けた方向性【案】

開園から約半世紀が経過し、「施設の老朽化」や「交通学習施設の利用数の低下」等の課題への対応や、北消防署の移転など、再整備の必要性は高まっています。

本市唯一の交通公園であることや、歴史的な価値を有する御土居及び貴重な緑地の保全、さらに広域避難場所として、地域の安心安全に資するよう考慮しつつ、環境性能や修景に配慮した全体的に一体感のある公園とすべく、「大宮交通公園の再整備に向けた方向性【案】」を作成しました。

大宮交通公園の再整備に向けた方向性【案】

公園中央部・南東部⇒【交通学習ゾーン】

- ・時代に合った新たな交通学習施設として整備

公園北西部・南西部⇒【すこやかゾーン】

- ・高低差のある地形を生かした貴重な緑のオープンスペース
- ・遊具や回遊性のある園路等を設置し、子どもから高齢者まで楽しめる自由広場

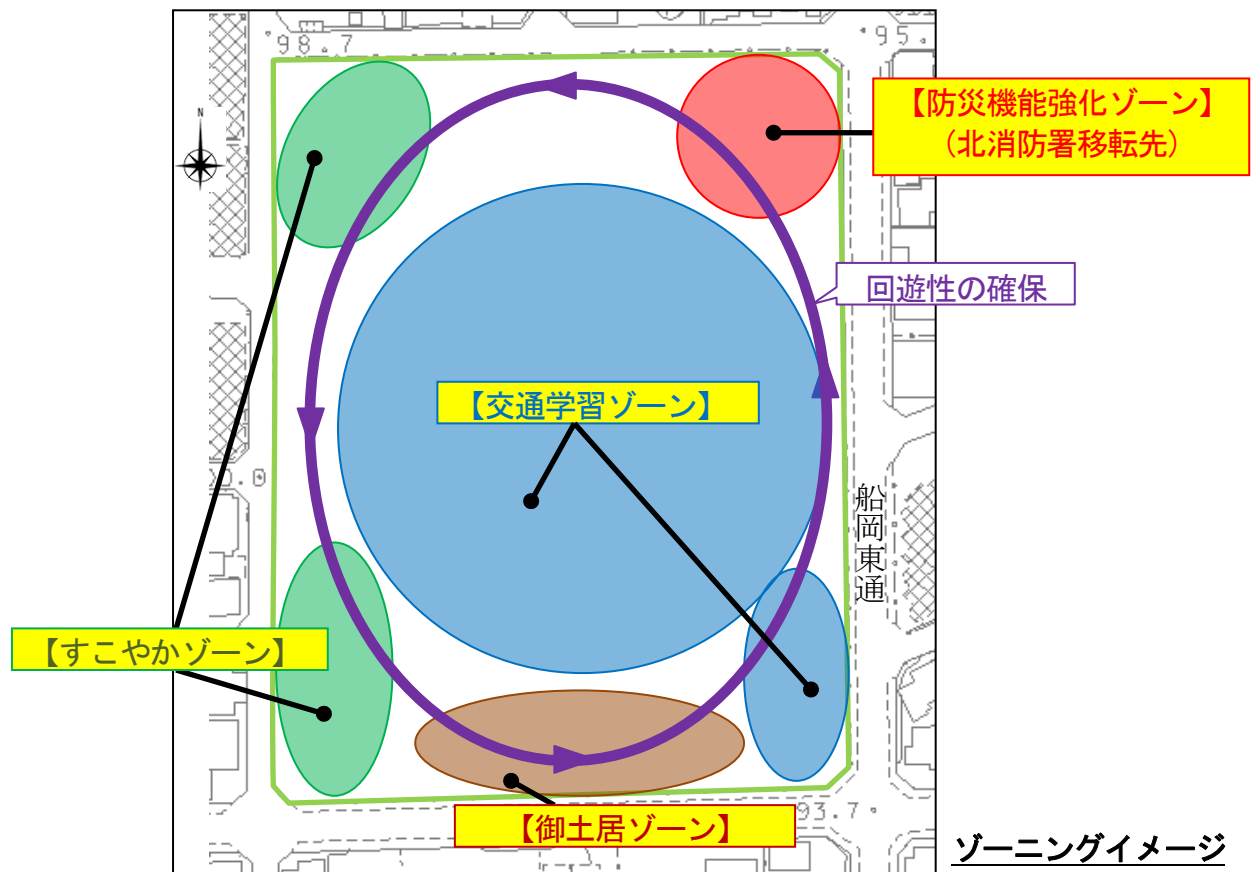
公園南部⇒【御土居ゾーン】

- ・歴史的な価値を有する御土居を活かした広場

公園北東部⇒【防災機能強化ゾーン(北消防署移転先)】

- ・公園と消防署を一体化し、広域避難場所としての防災機能を強化（防災トイレの設置や防災教育の充実等）

※上記各ゾーンを結び、公園利用者の回遊性を確保する構造とする



大宮交通公園の再整備に向けた御意見記入用紙

(※ 様式は問いません。このページを応募様式としてご使用いただけます)

- 募集期間 平成29年4月28日(金)～平成29年6月2日(金)【必着】
- 送付先 〒604-0911
京都市 建設局 みどり政策推進室 計画担当 行
(郵送の場合、住所の記載は不要です)
- F A X 075-212-8704



【御意見記入欄】

大宮交通公園の再整備に向けた方向性【案】について(該当する項目に「○」をつけてください)

1. たいへん良い 2. 良い 3. 改善(変更・修正)が必要

大宮交通公園の再整備に向けた方向性【案】についての御意見

「交通学習ゾーン」についての御意見

「すこやかゾーン・歴史体感ゾーン」についての御意見

「防災機能強化ゾーン」についての御意見

その他

御意見を取りまとめる際の参考としますので、差し支えなければ御記入ください(※ 該当するものに「○」をつけてください)。

【年 齢】20歳未満・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代以上

【性 別】男・女

【居住地】近隣学区内(大宮, 紫竹, 待鳳)・その他の京都市域・京都市域外

※ この意見募集で収集した個人情報につきましては、「京都市個人情報保護条例」に基づき適切に取り扱い、他の目的に利用することは一切ありません。

※ 御意見につきましては、意見募集の終了後に、御意見の概要及び御意見に関する本市の考え方を取りまとめ、ホームページで公表します

※ 御意見に対する個別の回答はいたしませんので、御了承ください。